

## 健康科学大学3ポリシー

健康科学大学は、「豊かな福祉社会を支える人材の育成」という建学の精神に基づき、「豊かな人間力」「専門的な知識・技術力」「開かれた共創力」の三つの力を兼ね備えた人材を育成して社会に送り出すため、次のような3ポリシーを掲げている。

### ◆アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

健康科学大学では、豊かな福祉社会を支える医療・保健・福祉・心理の専門職を育成するため、次のような資質を備えた入学者を求めている。

- (1) 本学の建学の精神と教育目標を十分に理解している人。
- (2) 本学で学ぶために必要な基礎学力を身につけている人。
- (3) 向学心に富み、自ら考え、行動する意欲がある人。
- (4) 支援する人々の幸せを自分の幸せと感ずることができる人。
- (5) 他人と良好なコミュニケーションがとれ、協調しながら行動できる人。

### ◆カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）

健康科学大学では、幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理性に立脚して専門的な知識と技術を習得するため、次のような方針に基づいてカリキュラムを編成している。

- (1) 本学の教育理念と目標を実現するため、多彩な科目を開講する。
- (2) 修学に必要な知識と能力を確実に身につけるため、初年次教育に力を入れる。
- (3) 幅広い教養を身につけるため、「総合基礎科目領域」（健康科学部）・「基本教育科目」（看護学部）を充実させる。
- (4) 関連職種と連携できる力を身につけるため、「専門基礎科目群」（健康科学部）・「専門教育関連科目」（看護学部）を充実させる。
- (5) 主体的に学ぶ力を養うため、全学年で少人数編成による演習科目を設ける。
- (6) 専門的な知識と技術力を確実にかつ幅広く身につけるため、「専門科目群」（健康科学部）・「専門教育科目」（看護学部）を充実させる。

### ◆ディプロマポリシー（学位授与方針）

健康科学大学では、関連領域の専門家と共に新たな実践を創造し、地域の医療・保健・福祉に貢献できる優れた人材を社会に送り出すため、次のような資質と能力を備えた学生に学位を授与する。

- (1) 生命に対する深い理解や人権の尊重に立脚した高い倫理性と豊かな人間性を身につけている。
- (2) 多彩な科目の履修を通じて、幅広い教養と専門的な知識・技術力を身につけている。
- (3) 医療・保健・福祉の関連職種と連携して実践できる能力を身につけている。
- (4) 一人の社会人・職業人として様々な課題に適切に対応できる社会人基礎力（ジェネリックスキル）を身につけている。
- (5) 社会の変化や技術の進展に的確に対応するために自己研鑽できる能力を備えている。

## 理学療法学科3ポリシー

### ◆アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

- （1）理学療法に関心があり、知識や技能を修得したい人。
- （2）自ら学ぶ意欲のある人。
- （3）医療を通じて社会に貢献する情熱のある人。
- （4）他人の心を思いやることができる人。

### ◆カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）

- （1）理学療法士に必要な知識と技能を養うため、初年次から専門科目領域の科目を順次配当する。
- （2）幅広い教養・視野、倫理観、思いやりと奉仕の精神を養うため、総合基礎科目領域を充実させる。
- （3）チーム医療に必要なコミュニケーション力、協調性、柔軟性を養うため、総合基礎科目領域と専門科目領域の連携に力を入れ、グループ学修の機会を多く設ける。
- （4）自ら問題を見出して解決する力、論理的思考力を養うため、少人数編成の演習・実習形式の科目を多く設ける。

### ◆ディプロマポリシー（学位授与方針）

- （1）理学療法士に必要な知識と技能を修得している。
- （2）広い視野と未知への探求心を身につけている。
- （3）高い倫理観と責任感、患者に対する思いやりと奉仕の精神を身につけている。
- （4）チーム医療に必要なコミュニケーション能力と協調性を身につけている。
- （5）根拠に基づいた医療の実践に必要な論理的思考力を修得している。
- （6）自ら問題を提起し、解決する力を身につけている。

## 作業療法学科3ポリシー

### ◆アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

- （1）作業療法について積極的に学ぶ意欲があり、未知の分野への探求心に富んだ人。
- （2）「なぜ?」、「どうして?」という疑問を持って、主体的に学ぶことができる人。
- （3）豊かな感受性と思いやりの心を持ち、他人のつらさや喜びに共感できる人。
- （4）自分の考えを伝え、話をよく聞くことができ、協調しながら行動できる人。

### ◆カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）

- （1）リハビリテーション専門職としてふさわしい豊かな人間性、専門的知識・技術の修得、関係職種と連携するための協調的実践力を培うための科目を配当する。
- （2）初年時には科学的思考力、多様な価値観の受容力、深く人間について理解する共通科目を中心とした科目を配当する。
- （3）2年次には、科学的根拠に基づいた作業療法技術を実践する上で理論的基礎となる専門基礎科目を中心に配当する。
- （4）3年次から4年次にかけては、これまでに修得した知識と技術を統合させ、リハビリテーション専門職として必要な、態度、資質、行動を育成するとともに、学内教育で臨床実践能力の基礎を涵養するため学外臨床実習を設ける。

### ◆ディプロマポリシー（学位授与方針）

- （1）生命と人権の尊重を基本とした、豊かな人間性と高い倫理性を身につけている。
- （2）幅広い教養と作業療法学の基本的知識と技能を身につけている。
- （3）関係職種と連携できる実践能力を身につけている。

## 福祉心理学科3ポリシー

### ◆アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

- （1）さまざまな分野に関心を持ち、柔軟で主体的に学ぶことのできる人。
- （2）人間が好きで福祉や臨床心理に興味や関心がある人。
- （3）豊かな情緒と感性を持ち、人と自分自身に誠実な人。
- （4）福祉や心理の分野において活躍したいという情熱にあふれている人。

### ◆カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）

常に時代に対応できる専門職の育成をめざし、社会福祉、精神保健福祉、心理といった専門分野だけでなく、人体の構造や仕組みなど幅広い基礎的な知識を修得できるようなカリキュラムを配置する。さらに高学年次には演習や実習を重視し、現場における実践力を高める。

#### 社会福祉コース

社会福祉士としての知識、技術、価値を高め、ソーシャルワークの視点を修得できるカリキュラム編成とする。

#### 精神保健福祉コース

社会福祉をベースに精神保健福祉士の理論と価値を学んだうえで、演習・実習科目を配置し、理論と実践の調和を学ぶことができるカリキュラム編成とする。

#### 発達臨床心理コース

基礎から応用に及ぶ幅広い心理学の知識を修め、「心理面接法」等の現場体験演習を設けて、実践的な心理援助技術の獲得も視野にいた、カリキュラム編成とする。

### ◆ディプロマポリシー（学位授与方針）

豊かな人間観をもち、一人ひとりの尊厳を高められるような関わりができるとともに、人と人とをつなぎ共に社会を作ることができる力量を身につけている。

#### 社会福祉・精神保健福祉コース

ソーシャルワーカーとして必要な理論、知識、技術を総合的に理解し、福祉サービス利用者の立場に立った視点、援助スキルを修得している。

#### 発達臨床心理コース

生涯発達に課題や困難を抱える人々が生きやすい人間社会の構築に寄与できる、心理学の高度な専門知識と技術を修得している。

## 看護学科3ポリシー

### ◆アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

- (1) 看護学分野に対する強い興味と関心を持ち、看護師に対する高い職業意識を有している。
- (2) 学部教育及び国家試験の受験資格の取得並びに国家試験の合格に向けての学習意欲を有している。
- (3) 高等学校で履修した主要科目について、教科書レベルの基本的な知識を有し、基礎的な課題を解くことができる。
- (4) 自分の考えを口頭や文章により適切に表現することができ、他者に対して的確に伝えることができる。

### ◆カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）

- (1) 4年間の教育を通して、社会生活と職業生活の基盤となる学士力を育む教養教育と、看護専門職者を育成する看護基礎教育に必要な教育課程を編成する。
- (2) 看護職者に求められる「豊かな人間力」を涵養するため、学士力を育む科目群を配置する。
- (3) 「専門的な知識・技術力」と「開かれた共創力」の基盤となる専門教育関連科目と専門教育科目の科目群を配置する。
- (4) 自己学習力の涵養と演習等を通じた態度教育の実現を目指し、教育課程が過密にならないように科目と教育内容を精選し、事前事後学習の時間を確保する。

### ◆ディプロマポリシー（学位授与方針）

- (1) 社会や人間・自然に関する知識と理解をもち、人の尊厳と生命を尊重する倫理性を身につけている。
- (2) 社会生活と職業生活に必要な汎用的技能と態度・志向性をもち、問題解決のため、相手の立場を共感的に理解できるコミュニケーション能力を身につけている。
- (3) 看護理論に基づいて看護過程が展開できる能力を修得している。
- (4) 人々の健康と生活の質を高める看護実践ができる基礎的能力を修得している。
- (5) 保健医療福祉分野において、関係する人々と連携し、問題解決できる基礎的能力を身につけている。
- (6) 看護専門職者として継続して学習・研究できる基礎的資質と能力を有し、看護専門職の価値観・専門性を生涯にわたり発展させようとする意欲をもっている。